

勝林寺寺報

たとい正義たりとも



むかし妙観という有名な細工（彫刻家）がました。
すばらしいその細工のできばえに、人達は、さぞかし妙観さんのつかう刀やノミは、切れ味のいい鋭い刀であろうと想像しました。

「妙觀はすこし鈍き刀をつかう」
名工妙觀さんのつかう刀は、人が想像したようなそんなに鋭いものではなくて、すこし鈍きたなを使っていたと言うのです。

細工師にとつて大切なことは、切りきざむための刃物ではなくて細工の材質です。切れ味がいかにいいからといって、堅いケヤキに使う刃物でホウの木細工をしても成功するはずはありません。「妙観はすこし鈍き刀をつかう」

「応病与薬」ということばもあります
病人の病状をよく診て、それに合う薬
を与えてこそ、薬の効果もでるのだとい
うことです。
ところが、あらたな新薬などが開発さ
れると、ソレとばかりに何にでも誰にで
も見境なくこの新薬を使ってみる風潮が
あるのは恐ろしいことです。薬害・副作
用ということで病人をよけいにやまいに
追い込んでしまいます。



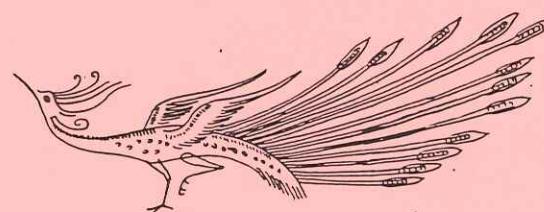
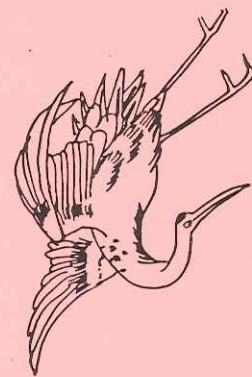
おかあさん。
母親のあまりにも強いせつない愛のために、肝心の子供のいのちをさえ奪ってしまう（幼児虐待）はどうして起ころのか考えてごらんになつたことがあるでしょ
うか。
強い愛、余りにも強い愛の押し付けが、子供の個性も、いのちさえも奪い押し潰してしまっているのです。

—タトイ正義しょうぎ タリトモシ
ゲカラソコトヲバ停止ちょうじ スベシ—
（たといどんなに正しいことであつても、
きつい正義、しつこい言い方をしてはな
りません）と蓮如さまは申されます。
仏法で「慈悲」ということは、相手の
身になり、その人のところにはいつて、
いっしょに呻き苦しむことだといわれま
す。

刀がまずあるのではない。材質にあわせた「すこし鈍き刀」をえらぶことが大事です。

をよく診たうえでのくすりでなけれなりますまい。
まず母の愛があるのではない。こどもの個性・いのちの輝きを見るこころこそ大切です。

たとい正義たりとも、しげからんことをば停止なさつた蓮如さまのやさしいおことばに耳を傾けましょう。



法輪會	事務局計	副會長	仏婦會長	事務局計	副會長	仏壯會長	事務局計	副會長	仏壯會長	門徒總代	責任役員	後坊住職
斎藤龜藤岸斎藤川井川下藤	立脇みさゑ	生田宮嶋美重子	平野嶋幸子	中嶋武志	宮嶋千秋	数横斎藤大谷田湯亀永山兼森	森山中口亀井永井井田	石垣中亀永井	垣中亀永井	西戸三井	西戸三井	西池
保貴幸恵枝	貴昌子	菊良子	昌子	和雄	正弘	逸夫	孝春	幸男	貞雄	健一	正規治	深音
俊	子	秀子	子	和	昭三	雄	春	男	雄	一	治	子

今日のいのちに
遇あう不思議

「あう」といふ字は發つたあります
まず「会う」は、多くの人が寄り集まって話し合うこと
をしめす文字。和・絵や點・括など同系統の文字。
次に「逢う」。穂先の頂点のような一点に、両側から
歩いてきた人がちょうどあうということを示す文字。縫
峯など縫い合わせ、稜線の寄り合う点など同じでき立ち
の字。

「値う」。人がニシベン、真つすぐに、目を明けて
隠されたものをまともに見るという意味がこめられています。

まともに目と目が会う。両方の言い分がピッタリと会う。
(ものの値段はそうしてきまります)

さてこの「遇う」。この字のツクリの方は、人に似て猿
のようなく思議な動物の絵文字です。あう苦のないそ
んな不思議なものにフトである、たまたまであるという
意味の字です。

親鸞さまがしばしばこの「遇」という字を使われるの
は、到底助かる筈のないわたしも、如来様に呼ばれ願わ
れ救われるその不思議なご縁を喜ぶ気持ちから、選んで
この文字を使われたのです。

お念佛に恵まれて、不思議なご縁のなかで今日の日を
生かされているいのちの喜び。
元日や
今日のいのちに

一月のこよみ

修正会・初参り
但東町初参り

寿春

出石組仏事連盟会長
勝林寺仏事顧問

魚串井

孝子



佳い年をお迎えになりましたことをここからお慶び申し上げます。

吉凶禍福にこだわり俗習に流されるなど、いろいろなことに迷わされ振り回されて生活しているのが現状です。そのなかにあってひとり、一切「ものいみ」をしないのが浄土真宗ご門徒の誇りであったはずです。

ご和讃に

超世の悲願ききしより

われらは生死の凡夫かわ

有漏うろマヨイの穢身は変らねど

こころは淨土にあそぶなり

とありますように、阿弥陀如来の本願こそが唯一のより所であり幸せであるのに、世間一般の迷信に流されている人が多いのは悲しいことではあります。

私達にとって今的人生は二度と参りません。

元気で日々のくらしに懸命であっても、お互に弱い面をもつ人間には変わりありません。今、このときに、正しいこころの拠り所であるおみのりを聞かせていただき、聞いた喜びが職場に家庭に輝きでたら、どれほどか強い人間になれるでしょう。

俗習迷信にふりまわされる浮草のような生き方ではなく、如來の永遠の命の中に生かされていることに気付けば、人として生まれた真の喜びがあるといえますよ。今からです。歩みはたとえ小さくとも、阿弥陀仏の大きな本願のなかに生かされてある究極の喜びを、お互いに聞きあい感じあい、共に手をつけないで念佛の輪を広げてゆこうではありませんか。念佛のこゑを世界や子や孫に

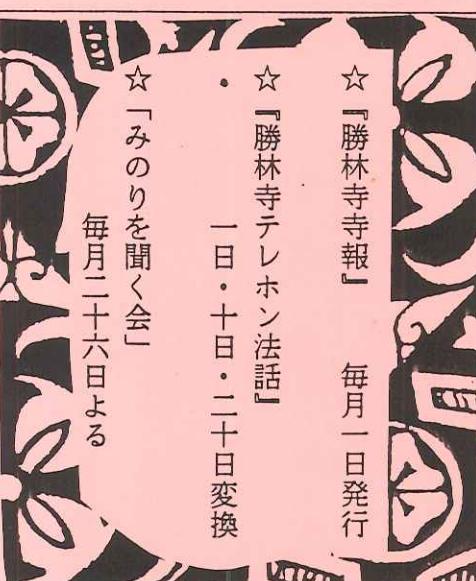


行事予定

年 1991(平成3)

1月	五日	総代会
二月	十日	代議員会・ダーナの日
	十七日	仏事理事会・総会
	二三・三日	教区総代研修会(城崎)
三月	一〇日	檀見女中講
	二〇・一日	法輪会
	二四日	妙寂寺(倉敷)
	三一日	春の彼岸会
四月	二八日	養泉寺落慶法要
	三一日	本山ご法要団体参拝
	二九日	出石組連研
五月	九・一七日	築地本願寺(東京)
	二五・七日	明恩寺(小倉市)
六月	九日	出石組御同朋結集大会
七月	八・九日	戦没者追悼盂蘭盆会
	二八日	出石組連研
八月	八日	永代経・仏婦縁会
	二〇日	お盆まいり
九月	一日	秋の彼岸会
十月	九日	出石組御同朋結集大会
	二四日	真覚寺彼岸会
	二六日	順光寺落慶法要
	二九日	別修報恩講
十一月	一〇日	法輪会
	一九・二一日	順光寺落慶法要
	二六日	別修報恩講
十二月	一一・一二日	報恩講
	三一日	除夜会

- ☆「勝林寺寺報」 毎月一日発行
- ☆「みのりを聞く会」 每月二十六日による
- 「勝林寺テレホン法話」 一日・十日・二十日変換



病床だより
とうとうこの一年、病床のなかで過ごさせていただきました。
ご迷惑をおかけしたにもかかわりませず、お見舞いやら励ましやら、有形無形かずかずの身にあるご恩顧を頂戴したおかげで、病をもちながらそれでも元気で年を越させていただきます。
もったいばかりでございます。

本人の気力と体力が頼みと先生からわかれていますが、その気力だけはしっかりともちたいと思っております。せっかく仮縁に恵まれ育てられているいのちでござります。最後まで大切に大切にお念佛に生き抜きたいと思つております。せっかく皆様も新たにお迎えになつたお年の一一日のいのちを、大切にお過ごし下さいまよう念じ申し上げます。

